

令和5年度第3回春日井市地域自立支援協議会に係る事前質問と御意見

質問者	資料No.	質問内容	回答者
高木委員	資料1	相談件数の推移は、増加傾向でしょうか、減少傾向でしょうか。 また、相談内容に何か特徴はありますか。（例：〇〇に関する相談が増加している、など。）	各支援センター
		相談件数はどの内容も全体的に増加傾向にあります。 特に、医療的ケア児に関する延べ相談数が令和4年度4件、令和5年度62件（いずれも2月時点）と増加しています。併せて、ニーズ別の分類としても、「健康・医療」に関する延べ相談数も150件ほど増えています。医療的ケア児等支援法が施行され、関心が高まりつつあることが理由かと思われます。 また、他機関からの相談も令和4年度191件、令和5年度314件（いずれも2月時点）と増加しており、併せて、ニーズ別の分類としても、「家族関係・人間関係」に関する相談が150件ほど増えています。世帯全体の支援に多機関が関わり連携が進んでいることが理由にあげられます。	しゃきょう
		春日苑は身体障がいの方が主な対象者となっており、相談件数は月ごとの増減はあれ、おおむね横ばいです。相談内容としては生活全般の困りごとの相談や支援、様々な書類手続のサポートが変わらず多くを占めています。また障がいの原因となった疾患や年齢により介護保険対象となり、介護保険への移行などで地域包括支援センターとの関わりが多くあります。	春日苑
		かすがいは、主に知的障がいの方からのご相談が多いことに変わりありませんが、精神障がいの方からの不安に関する相談も増えつつあります。 相談件数に関して、今年度に入り全体的に増加傾向にあります。また、ご案内だけで終わるスポット的な相談は以前と比べ減っている印象ですが、伴走支援が必要な困難ケースの新規相談、もともと携わっていたケースの困難化（8050世帯の状況変化、男女関係のもつれ、困窮など）が多くなっています。	かすがい

質問者	資料No.	質問内容	回答者
三輪委員 (御意見)	資料 2-2	(相談の傾向と所感) : <u>かすがい</u> インターネットを通じて市外の方が春日井市の資源を把握している。逆もあるのですが、インターネットを利用できる環境にない人が取り残されていく不安があります。	
三輪委員 (御意見)	資料 2	(地域課題) : <u>まある、しゃきょう</u> ほとんどの報告に、事業所不足や人手不足といった社会資源の不足があげられています。切実な問題です。親として何をしたらよいのか、何ができるのかわからなくなってしまいました。	
服部委員 (御意見)	資料 3	障がい者生活支援センター連絡会の報告の今年度の取り組みで、令和5年11月から協議会会長の「会長のつぶやき」を掲載しているとの記載がありましたので拝見しました。協議会等の活動内容がより詳しくわかりました。ホームページもそうですが、お忙しい中このような取り組みをしてくださり、ありがとうございます。	
三輪委員 (御意見)	資料 5	<u>医療的ケア部会</u> 訪問看護ステーションに対して、医療的ケアに興味のある看護師へ医療的ケアに関する手技の研修やネットワークづくりをしていくことにしています。と報告がありますが、医療的ケア児者への支援が充実していくことを期待しています。	
坂田委員 (御意見)	資料 6	運営会議の報告の中で、10月の春育フェアは出席者も多く、とても貴重で有効な活動だと思います。広報をひろめて今後もぜひ継続してほしいです。(原文のまま)	
		教育機関へ広報や周知について、良い方法や意見があれば教えていただきたい。	あっとわん
		来年度、特別支援学級に在籍の児童の保護者へ周知する方法を、学校教育課に相談します。	事務局